

高砂市総合計画審議会（部会）
議事録【要旨】〔第2部会〕

開催日時	平成22年5月19日（火） 午後2時00分～午後4時20分
開催場所	南庁舎2階会議室1
部会長	北野委員
出席者	北野委員、國分委員、田中委員、森本委員 紙谷委員、砂川委員、近藤委員、伊藤勝之委員
欠席者	中井委員、松本委員（2名）
議事	（1）第4次高砂市総合計画（素案）について
資料	<ul style="list-style-type: none"> ①第4次高砂市総合計画基本構想（素案）第3版 ②第4次高砂市総合計画基本計画（素案）第2版 ③第4次高砂市総合計画基本構想（素案）骨子・・・資料3 ④第4次高砂市総合計画基本構想（素案）【概要版】＜第2部会＞ ⑤第4次高砂市総合計画基本計画（素案）内容修正による審議会資料 ⑥まちづくり提案募集結果・・・・・・・・・・資料7 ⑦まちづくり指標一覧表 ⑧パブリックコメント意見の概要・・・・・・・・・・資料8 ⑨高砂市総合計画審議会の今後のスケジュール・・・・・・・・資料9 ⑩ご意見書（様式2）

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	開 会
事務局	ただいまより高砂市総合計画審議会第2部会を開催する。部会長よりひとこと挨拶をお願いします。
部会長	皆さん、こんにちは。雨の中を皆さん方お忙しいなか、ようこそお出ましただきましてありがとうございます。この総合計画もいよいよ最後のまとめになりました。どうぞよろしくお願いいたします。行政の方も大変でした。ご苦労さまでございました。もう一押しでございます。どうぞ最後までよろしくお願いいたします。また、先生方もよろしくお願いいたします。
事務局	本日の会議は、出席者8名、欠席2名により、審議会条例第5条第3項の規定により、過半数が出席しているため、会議が成立していることを報告する。当審議会の公開について、高砂市総合計画審議会の運営に関する規定に基づき公開している。本日の傍聴希望者は2名。 ○資料の確認 今後の議事進行については部会長をお願いします。
部会長	第4次総合計画（素案）について事務局から説明いただく。
事務局	○資料説明（第5章第2節から第6章） 第5章「自然と調和した環境共生都市」 第2節、環境保全による共生と循環 1. 地球温暖化対策 2. 地域環境の保全 第3節、安全で快適な都市基盤の整備 1. 土地利用 2. 交通施設 3. 公園・緑地 4. 河川・港湾 5. 市営住宅 6. 市街地整備 7. 景観まちづくり 第6章「未来を拓き躍動する産業交流都市」

	<p>第1節、伝統的、先端的な産業の振興</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 農業 2. 水産業 3. 工業 4. 商業 <p>第2節、勤労者対策の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 勤労者対策 <p>第3節、地域資源を活かした観光の振興</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 観光 2. 地域交流 <p>以上、一括して説明</p>
部会長	<p>79 ページ、2. 地球環境の保全。施策の方向①高砂市環境計画等の推進。大気、水質、土壌などの環境資源を管理、保全し、健康で安全かつ快適な環境づくりのため、「高砂市環境計画の」を、「高砂市環境計画等を」と変更するということだが、「の」のままでいいのではないか。「を」だと示す範囲が狭くなる。検討願う。</p>
事務局	<p>検討する。</p>
委員	<p>山陽電鉄という表記を正式名称の山陽電気鉄道とするということだが、そうすると、JRもJR西日本と正式な表記にする必要があるのではないか。どちらでもよいと思う。</p>
部会長	<p>山陽電鉄のままでいいのではないか。</p>
事務局	<p>検討する。</p>
事務局	<p>○事前にいただいた意見を紹介</p>
部会長	<p>いま数点、資料に載っていない意見が紹介されたが、それについても文書にして配付してほしい。</p> <p>地球温暖化については、現在、地球レベルで不安定な状況になってきている。必ずしも温暖化と言い切れないのではないかなど問題があるので、意見等は文章化してほしい。</p>
事務局	<p>これまで口頭で説明した意見と、それに対する幹事の回答も併せて文書を作成し、お渡しする。</p>

部会長	<p>お願いする。</p>
委員	<p>地球温暖化対策に関して、兵庫県の施策方向とリンクさせる必要があるのかわからないが、県の施策方針に基づく市の役割分担もあるのではないか。庁内各部署との繋がりと同時に、近隣市町村との繋がりも含めた行動なり、計画なりが必要ではないか、もしそういうことがあるのなら聞いておきたい。</p>
事務局	<p>文書の作成と併せて回答する。</p>
部会長	<p>何か意見はないか。</p>
委員	<p>97 ページ 4. 商業に、商業団体とあるが、これは何を指すのか。</p>
事務局	<p>商工会議所や商工連合会などを総称して商業団体という表記にしている。</p>
委員	<p>商工会議所は全国的な組織であり、県や市の補助金もいただいております、市にとって非常に意味のある団体だと考える。他の項目には固有名詞が出ている団体もあるが、ここに商工会議所という名前は載せてはどうか。</p>
事務局	<p>商工会議所のほかに民商という組織もあるため、商業団体というかたちで表記しているが、意見をふまえて検討する。</p>
委員	<p>商工会議所は、商業だけでなく、いろんな意味を含めて、非常に大事な市内の団体である。また、市の活性化のために役立ちたいと強く願っている団体であることをお伝えしておく。</p>
部会長	<p>「商工会議所等、各種商業団体」としてはどうか。</p>
事務局	<p>ご意見を参考に検討する。</p>
部会長	<p>ほかに意見はないか。</p>
委員	<p>80 ページ、土地利用の説明のときに、農住調和ゾーンという言葉が出てきたが、これはどこに記載されているのか。説明だけなのか。①市街化区域及び市街化調整区域のところに、区域の都市的土地利用を目指しますと書いてあるが、これと農住調和ゾーンという言葉が関係するのか。</p>

事務局	<p>都市的土地利用とは、市街化調整区域の中での市街化をイメージしている。森林、農地は保全すべき区域であるが、市街化区域と隣接しているところは市街化して都市利用を図ろうということである。明姫幹線の南側については、平成 13 年に発足したまちづくり協議会で、明姫幹線の沿道を商業業務ゾーン、文教ゾーン、田園住宅ゾーンという 3つのブロックに分けたなかで、調整区域から市街化区域を目指そうという流れがあった。その流れのなかで、都市的土地利用が可能な土地は市街化するという方向であった。ただ、都市計画法の改正があり、現在は、あくまでも人口に見合った区域が市街化区域だということになった。高砂市の場合は人口がそれほど増えておらず、市街化区域のなかにもまだ農地が残っている状況であるため、そこがいま課題となっている。一方では、調整区域でも地区計画を立てれば、例えば、集合施設などを許可するといった制度もある。そうした制度を模索しながら、勉強しながら、協議会等々で調整しているという状況である。</p>
委員	<p>では、農住調和ゾーンというのは、市街化調整区域と隣接しているところと考えたらよいのか。</p>
事務局	<p>基本構想、18 ページから 20 ページに農住調和ゾーンを含めた土地利用について記載している。それに基づいて 80 ページ、土地利用で市街化調整区域についての計画を謳っている。そういう流れをご理解いただきたい。また、基本構想 20 ページ、土地利用構想図のなかに農住調和ゾーンを示しているのでご覧いただきたい。</p>
部会長	<p>要は、まちにしたいということか。</p>
事務局	<p>住んでいる人はそういう思いでやっていた。</p>
部会長	<p>市の構想としてはどちらか。</p>
事務局	<p>市民の皆さんの土地をなるべく活かすことができればと思っているが、法律の問題もある。</p>
部会長	<p>農地として活かす気はないのか。</p>
事務局	<p>例えば、沿道だけでも市街化できないかということを考えている。</p>
部会長	<p>沿道だけまちづくりするということか。</p>

事務局	はい。市街化と同じような商業施設が建てられるようにと。
部会長	人口が減少しており、空き家が目立っているような状況のなか、田んぼや畑をつぶしてまちにしまうのはもったいない。土地利用ということであれば、農地として希望者に貸すなどしてはどうか。市街化を優先するのではなく、田んぼや畑を残して、個性ある高砂市にするなど、残っている人が少しでも住み着くよう、先を見越したまちづくりをしてほしい。市街化ばかりに目を向けるのは時代遅れである。
委員	週末、菜園をするために農地を借りたいという人が増えているので、そういう人に土地を貸してはどうか。加古川や姫路の駅からは歩いていけないがJR曾根や宝殿からは徒歩圏にそういった地域がある。そこが、明姫幹線との間の市街化調整区域だろう。その活用の仕方を特徴付けることが、市の行政で特徴付けられる残り少ない土地ではないか。外部の人を引っ張ってこられるよう考えてはどうか。
事務局	例えば、阿弥陀地区であれば農地として利用されているが、利便性のよい地域は、どうしても資材置き場となってしまう。やはりそれはあまりよくないということで、現在、まちづくり協定なども策定しながら土地利用について取り決めをしている。明姫幹線沿いは別として、農地として残していく方がよいとは考えている。
部会長	以前の計画を引きずってはいけない。子どもたちのためにも、新しいセンスで、一歩進んだ計画をつくっていかなければならない。
事務局	承知した。
部会長	ほかに何か意見はないか。
委員	83 ページ③幹線道路の整備に、都市計画道路沖浜平津のことが書かれているが、できたらその項目の前に、「播磨臨海地域道路の実現に向け、関係機関にはたらきかけます」という項目をつくっていただきたい。現在、姫路市や加古川市とともに4市2町で協議会をつくり、国に対して播磨臨海地域道路の実現に向けて要望しているところである。 82 ページ、現況と課題のところにも、「構想段階である播磨臨海地域道路と市内都市計画道路の」という表現があるが、広域的な道路なので、まずそ

	<p>それを幹線道路の整備の最初に書いていただければ、県としても国に要望していきやすい。</p>
部会長	<p>ぜひ書いていただきたい。</p>
事務局	<p>検討する。</p>
委員	<p>82 ページ下から4行目、鉄道交通の充実のところに「JR山陽本線及び山陽電鉄の利便性向上」とあるが、利便性の向上とは高砂市としてどのように考えているのか具体的に書いたほうがわかりやすい。</p>
事務局	<p>承知した。</p>
委員	<p>82 ページ現況と課題、「幹線道路の整備は構想段階である播磨臨海地域道路と市内都市計画道路の整合性を図り」あるが、ここでは「市内都市計画道路のネットワーク化を図り」の方が表現としては適切ではないか。</p>
事務局	<p>意見を参考にして検討する。</p>
委員	<p>播磨臨海地域道路という構想はどういう構想か。</p>
委員	<p>国道2号加古川バイパスは、現在、非常に交通混雑が見受けられるため、新たに自動車専用道路か、あるいはもっと規格の高い道路等を別路線で一つ造ってほしいと県と4市2町で国に対して要望している。それを播磨臨海地域道路と呼んでいる。起点は神戸市の西区、終点が太子町に至る全線50キロである。ただ現在、道路の財源も非常にコンパクトになっているため、50キロにこだわりすぎず、もっと起終点を狭めて実現可能性の高いものとして国に要望していきたいと思っている。</p>
委員	<p>100 ページ、観光について、東播磨ツーリズム振興協会と連携していくということだが、どういったレベルのことを考えているのか。観光庁では、観光圏という構想もあるようだが。</p>
事務局	<p>具体的な計画はできていない。広域的にそういったものが構成されていければ一番よいとは考えている。</p>

委員	<p>CO2に関して、まちづくり指標には、京都議定書の1990年比25%減という目標が書かれているが、基本計画には漠然としか書かれていない。どこに数値目標を明記するのか。</p>
事務局	<p>来年策定予定の地球温暖化防止実行計画のなかに明記する予定である。ただ、国の目標のままにするのか、あるいはそれ以上にするのか等、いろいろな意見をふまえつつ整理していくべきだと考えている。</p>
委員	<p>まちづくり指標には、平成32年度目標値となっているが。</p>
事務局	<p>ここでは国の目標値そのままにしているが、最低限の数値ということでご理解いただきたい。</p>
委員	<p>100ページ、観光、現況と課題について、市外から来訪する人の観点から、宝殿駅との関連で生石「石の宝殿」あたりの一連のエリア、それから体験型として高御位山、そして周辺整備等々を含めて石の宝殿の周辺といったように具体的に高砂市の個性をイメージできるように示していただきたい。できれば固有名詞で入れてもらった方がより分かりやすいと思う。</p> <p>また、この観光事業推進のPR活動として、謡曲『高砂』の一節をほとんどの市民が歌えるようにしてはどうか。いろいろなところで謡曲『高砂』をPRしてもらうことによって、高砂市の存在感と、それからまた高砂市に対する愛着も出てくるだろう。教育との関係もあるかもしれないが、計画③のところに入れてもらえないか。</p>
事務局	<p>観光については、まち歩きイベント的な提案もいただいている。そのなかで、具体的に想定コースやエリアとして地名を挙げていくことは可能であると思うので、検討したい。</p> <p>謡曲『高砂』については、地域ブランド協会でも、尉と姥のグッズや本を作ろうという計画はあるようだ。それを小学校に配ろうという話もある。それは直接、謡曲『高砂』に繋がっていないが、いまの段階ではどのような展開を検討すればよいのか、回答できない。</p>
部会長	<p>謡曲をする人、文化を愛する人にとって謡曲『高砂』のまちというのは憧れである。しかし、当の高砂市民はまったくそれを認識していない。市民は無関心でも、全国的にみたら謡曲『高砂』というのは、本当に価値のあるものである。そのあたりをよく認識して、謡曲『高砂』や石の宝殿といった歴史ある文化を大切に考えていただきたい。</p>
委員	<p>立派な計画ができていますが、核がない。この計画を見て、何がどうなって</p>

<p>部会長</p>	<p>いくのか分からない。謡曲『高砂』も、われわれの世代まではだいたい覚えているが、若い者は知らない。非常に寂しいことである。</p> <p>謡曲『高砂』など、計画に核になるものをつくって、それを実現させるように民間も協力していけば、本当に実現できるのではないか。将来のために核がほしい。</p> <p>私もイベントや式典の際には積極的に石の宝殿の歴史について話をし、PRしている。万灯祭についても、多くのまちの人が乗ってきてくれているので、それだけ意味のあることだと思う。</p> <p>総合計画は、やはり古くからの伝統のあるものを載せるべきである。いまは国も伝統文化の伝承に非常に力を入れている。婦人会も県から予算をもらって伝承活動をしている。高砂市としても、古くからの伝統文化を切り捨てることなく、高砂神社と石の宝殿は絶対に載せていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>謡曲『高砂』については、2月の全体会で提案がなされ、部会で議論するという話になった。今回提示している基本計画（素案）は、それ以前につくっているため、それは反映されていないが、小学校教育に謡曲『高砂』を取り入れてはどうかという意見が出た。教育振興基本計画には記述している。全体としてどうするかということについては、いろいろ議論いただいたが、芸術文化に取り込んでいくか、それとも観光で盛り込むか、両方盛り込むか等々、事務局で再検討する。高砂神社については、市の方で調整を図りたい。謡曲『高砂』甲子園をしてはどうかという意見をいただいているので、それについても検討する。</p>
<p>委員</p>	<p>総合計画における核をつくっていただきたい。また、民間を活用して、まちづくりに参加するようにしていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>先日、新聞で、小学校の教育に能を取り入れるというアイデアが紹介されていた。幼いころからそういったものに触れていると、古典に自然と親しめるということだった。高砂から能を広げていくなど、一步踏み込んだ提案をしてはどうか。また、計画のなかに、具体的な例、固有名詞が少ないせいか、よいことを書いてはいるが、全般的にどうもよそごとのように感じる。固有名詞を入れることに関しては問題もあるかもしれないが、できるだけ入れた方が総合計画が自分たちのものになるような気がする。</p>
<p>事務局</p>	<p>いただいた意見をふまえて、調整させていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>以前、高砂のブランド看板をどうするかという話が出たが、今回の基本理念、健康、環境、文化をキーワードにするかたちで、その上位概念のよう</p>

	<p>なものが必要ではないか。それが一つの高砂の顔、キャッチフレーズ的なものになるだろう。中学生アンケートでは、高砂市のイメージは、ブライダル都市高砂であると答える子どもが多かった。それは市内に看板等が設置されているため、イメージが植えつけられたためである。文化、環境、健康を彷彿させるものは、やはり歴史だろうと考える。文化は歴史文化の再確認であり、環境はこれからの将来展望であり、健康は現在の健康（高齢者の健康など）ということで、過去、現在、未来にわたって時間的な軸で見渡していけば、健康、環境、文化のキーワードを解釈できるような気がする。今ふさわしい言葉は思い付かないが、尉と姥を生かしながら将来展望もできるようなものが必要だと考える。</p> <p>石の宝殿などの歴史的な遺跡はよく知られているが、高砂や曾根など身近なところにある歴史を市民は知らないことが多い。ほかの人がおもしろいと感じる歴史的なものがたくさんある。そのような体験型の観光も含めて作り上げていかなければならない。以上のことを含めて歴史が横断的な軸であることは間違いないと思うので、うまく文化・環境・健康に結び付けていければと思う。</p>
委員	<p>95 ページ工業、①工業の振興で、退職者等の人材活用や技術を生かせる制度の構築に努めますとあるが、やはりこれから地域の中心で活動する人は、いわゆる団塊の世代である。そういう人たちのネットワークづくりに力を入れてほしい。制度の構築に努めます、努力しますよりも強い言葉が必要である。</p> <p>専門的な知識、技能を持っておられる方々が地域に増えている。その方々の持つ経験をうまく活用するような、まさにここに書いてあるような制度の構築に努めてほしい。構築する、と言い切ってほしい。難しいとは思いますが、期待している。</p>
事務局	<p>団塊の世代の方々については、99 ページ勤労者対策で、シルバー人材センターとともにその方々の持つ技術を生かすようなプログラムをつくっていくという位置付けにしている。</p>
部会長	<p>「構築に努めます」となるとその場しのぎに聞こえるので、「人材活用や技術を生かせる制度を推進します」としたらいいのではないか。そうすればもう少し強い意味になる。</p>
委員	<p>私がいう人材の活用というのは、市政への意見を持っている方がたくさんいると思うので、そのような人がコミュニケーションを図ることのできる場を設けて、次の高砂をどうするかといった意見交換をし、経験をかたちにするという意味である。シルバー人材センターというと、手に職を持たなければ</p>

	<p>ばならないように感じる。</p>
委員	<p>95 ページ、②企業誘致の促進について、関電跡地の工場の誘致はどこまで進んでいるのか。</p>
事務局	<p>関電の跡地については、まだ具体的な方向性が出ていない</p>
委員	<p>95 ページ、施策の目標で、「会議所と県商工会議所と連帯して新産業の新設、新技術の開発を支援していく」とあるが、商工会議所を、こうした大きい目的にだけでなく、もっと日常の問題から活用いただけたらと思う。企業をもっとうまく利用して引っ張り出せば、まちの活性化につながっていくと思う。新産業の創造、創出、新技術の開発は素晴らしいことだが、現実問題なかなか難しい。企業が担うことのできる役割が、日常的な場面でもっといろいろあるような気がする。</p>
部会長	<p>「県、商工会議所と連携して」とあるが、商工会議所は市も国もあるのではないか。</p>
事務局	<p>ここで県としているのは、県の商工会議所という意味ではなく、兵庫県という意味である。そして、市の商工会議所という意味で書いている。</p>
部会長	<p>この文章は説明不足である。これでは県の商工会議所だけかと思う。</p>
事務局	<p>文章表現を検討する。</p>
委員	<p>いまは企業も社会的責任として、地域の市民または市との協働、地域への貢献が必須となっている。これからは、市民側からもそういうことをもっと一緒になってやっていこうというスタンスが必要だろう。ただ単に工業の振興というだけではなく、工業、企業と市民との協働といった一文が必要ではないか。企業は企業の社会的責任の問題もあり、環境教育や環境学習など、いろんな取組みを進めていると思う。これは工業としたらいいのか、商業としたらいいのかわからないが、いわゆる産業界とのそういうつながりを一緒にやって、市の工業界の新規産業だけではなく、市の振興にも努めるというような一文があってもいいのではないかと思う。</p>
事務局	<p>たしかに企業には地域貢献が求められる時代になった。環境教育については、市内の企業にもご協力いただいている。いま指摘のあったような地域貢</p>

	<p>献という部分は当然あると思うが、どこに記載すべきかについてはまた検討する。</p>
委員	<p>いま地域貢献という言葉が出たが、昭和の時代は、大企業は地域にできるだけ貢献しようという気持ちを持っていた。非常に日本的なものの発想だったと思う。しかし、いまはそういう意識がなくなってきた、さびしいと感じている。ただ、いまでも間に何かがあれば、私は地域に大企業も引っ張り込めるのではないかと、個人的には考えている。</p>
委員	<p>企業の負担になるような地域貢献は難しいと思うが、従業員の方のボランティアといったかたちで実現できるとは考えている。そうしたことに理解を持つことが産業界の生き残りの条件になりつつあるのではないかと考えている。</p>
事務局	<p>検討する。</p>
部会長	<p>ほかに意見がなければ、その他に進む。</p>
事務局	<p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり指標（案）一覧表について説明 指標や目標を掲げ、市民にとってわかりやすい計画にしたいということから、基本計画の施策の分野ごとに、できるだけ指標や目標を設定していきたいと考えている。（施策の分野ごとに、指標、現況、H27年度の目標値、H32年度の目標値、計画内容、理由を示しています。） 現在、総合計画への掲載を検討している。 今後、意見をいただきたい。 ・パブリックコメント意見の概要について（資料8）説明 H22. 3月25日～H22. 4月30日の間、「第4次高砂市総合計画（素案）について」意見募集しましたが、提出された意見の概要でまとめたもの。 2名の方から21件の意見の提出があった。 現在、回答案を作成中である。今後、審議会に示し、審議会としての考え方を整理し、公表していきたい。 ・今後のスケジュールについて（資料9）説明
委員	<p>今日の部会をもって、担当する全項目についての全体的な概要の審議が終了したのではないかと思います。いろいろな意見がどのようなかたちで文章にあらわされているかということを確認しながら、最後の仕上げに結びつきたいと考えております。どうも今日は本当にお忙しいところ、ありがとうございました。</p>

事務局	ありがとうございました。 閉 会
-----	-------------------------